

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和4年度第7回政策会議
開催日	2022年(令和4年)7月28日(木)8:33~9:12
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長、和田副市長、宮治副市長、岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長(テレビ会議参加)、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長(欠席)、市民病院事務局長(テレビ会議参加)、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長(欠席)、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	(1) 議題(審議事項) 1 令和4年度第2回藤沢市公共資産活用等検討委員会について(企画政策部) (2) 報告・情報提供等 ア 令和3年度人事評価結果及び今後の見直しについて(総務部) イ 令和4年度藤沢市防災フェアについて(防災安全部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 議題(審議事項) 1 令和4年度第2回藤沢市公共資産活用等検討委員会について (説明者:企画政策部長) □企画政策部長から、資料1~参考資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 「藤沢市公共資産活用等検討委員会」において、検討及び審査した結果を報告するもの。 《主な意見等》 ○旧市営西富住宅敷地の現状説明をもう少し詳しく聞きたい。 ⇒旧市営西富住宅敷地については雨水管未設置のため民間への売却が困難ということで、令和4年度に策定した公共資産パートナーシップ提案制度の適用を含めて方針を検討している。現在、当該提案制度を活用して、民間提案の募集に向けて調整している状況である。 ○旧浜見保育園については公共資産パートナーシップ提案制度とは別の方法で進めるといふことか。

<p>内 容</p>	<p>⇒そのとおり。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 令和3年度人事評価結果及び今後の見直しについて</p> <p>□総務部長から、資料～資料6に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 令和3年度の人事評価結果の分析・検証及び今後の見直しに向けた進め方について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○国の人事評価制度に沿って6段階評価を導入するということだが、本当に国の流れが正しいのか、一度立ち止まって考えてほしい。国の制度も民間に比べて遅れを取っているという指摘があるので、よく検討してほしい。また、今回の資料の中でも、部ごとに評価のばらつきがかなりある。部局間の評価のばらつきについては、総務部が責任をもって対応すべきと考える。そうした調整が十分にできていない中で、先に6段階評価の導入や2の評価が少ないので、きちんと付けてほしいといった話は少し違うのではないかと考えている。改めて人事評価制度全体の組み立てを議論してほしい。</p> <p>⇒国の人事評価制度については、あり方検討会等を通じて5、6年かけて検討されてきたものであり、民間より遅れを取ったものであるという認識はない。今後も動向を注視しながら取り入れていきたい。また、6段階評価の導入は、昨年度から各総務課長を中心とした人事評価推進委員会の場で議論を続けてきたものであるが、引き続き意見交換していきたい。令和4年度は評価表においても、着眼点を以前よりも明確にした形で実施していくのでそうした点も検証しながら、この評価基準のあり方についてももう少し検討していきたいと考えている。</p> <p>○人事評価の主目的は給与反映と組織力の強化とどちらが目的なのか、その辺りの認識をしっかりと固めて進めてほしい。</p> <p>⇒ご指摘いただいたとおり、給与反映が目的ではない。あくまで人材育成の土台づくりが第一目標であると捉えているので、そちらも注意しながら進めていきたい。</p> <p>イ 令和4年度藤沢市防災フェアについて</p> <p>□防災安全部長から、資料～資料2に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 2022年9月3日（土）実施予定の令和4年度藤沢市防災フェア</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>実施計画について、情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月補正予算の理事者調整も無事終わり、来週には補正予算書と説明資料の確認をお願いすることになる。9月補正予算議案は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業とその他の事業に分かれるが、前者は少しでも早く生活困窮者への支援を行うという観点から、できるだけ早く議決を受けたいと考えている。本件については、議会側にはこれからご提案させていただくので現時点では未定だが、仮に議会側にお認めいただくことができた場合には、初日に当該臨時交付金を活用したコロナ対策事業とそれ以外の事業で二つに分けた形で補正予算を上程していくことを検討している。ご承知おきいただきたい。 ・ 7月27日に開催された神奈川県新型コロナウイルス感染症対策に関する本部会議の内容について、健康医療部長から資料に基づき概要説明が行われた。 ○ 自宅療養の推奨については患者の急増に対応するための措置である。医療機関の逼迫という状況もあり、全県民に協力を求めるという内容なので、よろしく願いたい。自主療養等の質問には丁寧な対応を取っていきたい。 ○ 若年層であっても、自宅療養を続けた結果症状が悪化し、救急搬送されるケースが出ている。また、受け入れ先の病院が見つかるまで時間を要したり、病院に着いてからも待機を余儀なくされたりするケースもある。自宅療養者に病院を受診する目安のようなものを示していただくことを検討いただけるとありがたい。 ⇒ 自宅療養者についてはコロナサポートセンター「コロナ119」もあるが、混雑しているという状況を聞いている。引き続き県と相談しながら対応を検討していきたい。 ○ 夏休み期間ということで、特に幼稚園、保育園と児童クラブでの子どもへの感染が増えている。本市では第6波のときから濃厚接触者の取り扱いを変更し、なるべく保育士が出勤できる体制を取っているが、それでも職員が足りず休園せざるを得ない保育園が出ている。保育課においても一部の担当で半数の職員が陽性になっており、今後これ以上増えた場合には他部局への応援依頼も検討しなければならない状況にある。 ○ 高齢者施設、障がい者施設でも多くのクラスターが発生している状
------------	--

内 容	況である。大阪府では高齢者の行動制限を呼び掛けているが、本市ではどのように対応するのか、施設等と議論しながら検討を進めていく。 5 閉会
-----	---